

Sirius

運用マニュアル

目次

EAの稼働を制御する	1
重要な経済指標発表や要人発言があるとき	2
月末月初	5
週明け・週末	6
米大統領選挙・中間選挙	7
年末年始	8
資金管理の技術	9
分割入金	10
利益の出金	11
XMの資金移動	12
有事の際は停止する	13

EAの稼働を制御する

EAは、単に自動で売買するだけのただのプログラムです。

AIが搭載されているわけでもありませんし、未来を予測しているわけでもありません。

そのため、完全放置していると大きな逆行に巻き込まれて資金が溶けてしまう可能性があります。

そこで、EAのオンオフを運用者が管理し、資金を失わないよう慎重に運用していく必要があります。

といっても、別に高度なチャート分析が必要なわけではありません。

相場が荒れる可能性のある時期は事前にわかっています。

具体的には下記です。

- ・ 重要な経済指標発表や要人発言があるとき
- ・ 月末月初
- ・ 週明け、週末
- ・ 米大統領選挙、中間選挙
- ・ 年末年始

このような時期は停止しておけば、資金を溶かすリスクがかなり下がります。

それではひとつずつ解説していきます。

重要な経済指標発表や要人発言があるとき

経済指標とは、各国の政府や中央銀行などが発表する、経済に関連する統計のことです。

要人発言とは、経済政策に関わる要人が発言することです。

これらによって景気の見通しが左右されるため、相場は大きく動くことがあります。

Siriusはゴールドを対象に取引するため、主にアメリカの経済指標や要人発言の影響を受けます。

経済指標の発表や要人発言のスケジュールはあらかじめ決まっており、経済指標カレンダーを見ればすぐにわかります。

ネットで検索すればたくさん出てきますが、GMO外貨の経済指標カレンダーは見やすくおすすめです。

経済指標カレンダー - GMO外貨

<https://www.gaikaex.com/gaikaex/mark/calendar/>

上記カレンダーを例に挙げると、アメリカの経済指標の★3の指標や要人発言は重要度が極めて高いため、これらの発表前後はEAの停止を推奨します。

また、ここ数年はアメリカの雇用が特に注目されており、★2ではありますが「新規失業保険申請件数」も相場が大きく動くことがあります。

まとめますと、注意すべき指標は下記になります。

非農業部門雇用者数★3

失業率★3

ISM製造業景況指数★3

ISM非製造業景況指数★3

ADP雇用統計★3

四半期実質国内総生産(GDP)★3

消費者物価指数(CPI)★3

個人消費支出(PCEデフレーター)★3

小売売上高★3

米連邦公開市場委員会(FOMC)★3

パウエル米連邦準備理事会(FRB)議長、発言★3

新規失業保険申請件数★2

なお、「非農業部門雇用者数」と「失業率」を合わせて「雇用統計」と呼びますので覚えておきましょう。

では、これらの指標がある日は、具体的にいつ停止させればいいのでしょうか？

運用者によって方針はさまざまだと思いますが、初心者の方はとりあえず日本時間16時（冬時間の場合17時）までの稼働を目安にすると思います。

そして、翌日の日本時間10時（冬時間の場合11時）から稼働を再開するといいでしょう。

アメリカの指標発表はだいたい21:30以降なので、それまでに止めておくイメージです。

たとえば、火曜日21:30に消費者物価指数(CPI)の発表があるとします。

その場合は、あらかじめ下図のようにパラメータを指定することによって、自動で停止してくれるので便利です。

 火曜フル稼働	false
 新規エントリー-開始時間	00:00
 新規エントリー-停止時間	10:00
 水曜フル稼働	false
 新規エントリー-開始時間	04:00
 新規エントリー-停止時間	23:59

フル稼働を「false」にすることで、指定した時刻内での稼働が反映されます。

MT4の時間で記述し、「10:00」は日本時間だと16時（冬時間の場合17時）になります。

同じように、「04:00」は日本時間だと10時（冬時間の場合11時）になります。

水曜日の新規エントリー-停止時刻が「23:59」になっているのは、システムの都合上、

「新規エントリー-開始時刻 < 新規エントリー-停止時刻」
となるように時刻指定をしなければならないためです。

「00:00」のままでは反映されないため、少々面倒ですが「23:59」を指定する必要があります。

毎週末に経済指標カレンダーを確認し、あらかじめ時刻設定をしておけばチャートを見る必要がなくなるので便利です。

月末月初

月末月初とは、具体的には27日～翌月雇用統計までの期間です。

雇用統計（非農業部門雇用者数・失業率）は基本的に第1金曜日に発表されます。

雇用統計のスケジュールは毎月確認し、発表が終わるまでは稼働を控えておきましょう。

たとえば、2024年4月の雇用統計は4月5日（金）なので、3月27日（水）～4月5日（金）が停止推奨期間となります。

翌週の4月8日（月）から稼働開始することになります。

注意点として、雇用統計は稀に第2金曜日に発表されることもあります。

たとえば2024年3月の雇用統計は3月8日（金）です。3月1日（金）ではありません。

このようにイレギュラーなこともあるため、第1金曜日なのか第2金曜日なのかを確認し、停止期間を間違えないように気をつけましょう。

月末は26日の10:00（MT4時間）に停止するように時刻設定をしておくといいでしょう。

週明け・週末

為替市場は平日のみ動き、土日は休みです。

そのため、土日に何か大きなニュースがあった場合、金曜日の終値から値が飛んで月曜日が始めることがあります。（窓開けと言います。）

もしポジションを保有したまま週をまたぎ、逆方向の窓開けに巻き込まれたら、たちまちロスカットしてしまいます。

また、月曜日夕方ごろまでは海外のトレーダーが参入していないので値動きが不安定となり、ロスカットするリスクがあります。

これらを回避するため、金曜日は早めに停止し、月曜日は夜から稼働することをおすすめします。

具体的には月曜日と金曜日はフル稼働を「false」にして下図のように時刻指定をしておくといいでしょう。

 月曜フル稼働	false
 新規エントリー-開始時間	14:00
 新規エントリー-停止時間	23:59
 火曜フル稼働	true
 新規エントリー-開始時間	00:00
 新規エントリー-停止時間	00:00
 水曜フル稼働	true
 新規エントリー-開始時間	00:00
 新規エントリー-停止時間	00:00
 木曜フル稼働	true
 新規エントリー-開始時間	00:00
 新規エントリー-停止時間	00:00
 金曜フル稼働	false
 新規エントリー-開始時間	00:00
 新規エントリー-停止時間	10:00

米大統領選挙・中間選挙

米国の将来を担う一大イベントです。

為替やゴールドも乱高下が激しくなるため、この時期は停止させておくのが無難でしょう。

米大統領選挙は4年に1度、「11月の第1月曜日の翌日の火曜日」と決まっています。

中間選挙は米大統領選挙の2年後に行われます。

たとえば、2024年は11月5日（火）に米大統領選挙が行われます。

中間選挙は2026年11月3日（火）に行われます。

米大統領選挙や中間選挙がある週は、1週間まるまる停止させておいた方が無難でしょう。

年末年始

年末年始は市場参加者が極端に少なくなるため、予期せぬ暴落暴騰が起こる可能性があります。

実際、2019年のお正月にはフラッシュクラッシュと呼ばれる瞬間的な大暴落が起こりました。

こんなときにEAを稼働させていたらひとたまりもなかったでしょう。

年末はだいたいクリスマスごろから薄商いとなるため、12月25日ごろには手仕舞いして1年の運用を終えるといいでしょう。

年始は雇用統計が終わった翌週から稼働を開始するといいでしょう。

資金管理の技術

先述したように、あらかじめ危険だとわかっている相場は事前に回避できますが、これ以外の相場で突如荒れることもたまにあります。

相場なので仕方がないことです。受け入れるしかありません。

そこで、一発退場になってしまわないように、資金管理をする必要があります。

資金管理とは具体的に言うと「分割入金」と「利益の出金」です。

次ページで詳しく解説します。

分割入金

Siriusの推奨は証拠金50万円につき0.01ロットです。

もし、手持ち資金100万円の場合、100万円入金して0.02ロットで稼働させたくはなりますが、これは危険です。

というのも、この場合、手持ち資金を全額入金していることになり、もし予期せぬロスカットに巻き込まれた場合、100万円すべて失うこととなります。

これでは一発退場です。

しかし、手持ち資金100万円を50万円ずつに分割し、まず50万円だけ入金しておけば、仮にロスカットに巻き込まれたとしても50万円の損失で済みます。

まだ手持ちに50万円残っているので、これを入金すれば稼働を継続できます。

「50万円で1セット」という捉え方をするといいでしょう。

Siriusは相場にもよりますが、50万円0.01ロットの場合、だいたい3～4ヶ月で50万円ほどの利益が出ます。

1回くらいロスカットにあってもすぐに取り戻せるでしょう。

利益の出金

1週間ごとや月ごとなど、決めたペースで利益を出金しておきましょう。

というのも、利益を入れっぱなしにしておくと、予期せぬロスカットに巻き込まれたときに利益もろとも失う可能性があるからです。

たとえば証拠金50万円で運用していて、60万円の利益が出たとします。

合計残高110万円です。

ここで予期せぬロスカットに巻き込まれたとします。

すると、110万円すべて吹き飛んでしまいます。

これは非常にもったいないです。

ですが、60万円の利益を出金しておいたらどうでしょう。

残高は50万円のままです。

これなら、ロスカットに巻き込まれたとしても、50万円の損失で済みます。

利益60万円は守られました。

ここから50万円再入金して稼働を続けます。

せっかく得た利益を失わないように、利益はこまめに出金しておきましょう。

XMの資金移動

「利益をこまめに出金」といっても、銀行口座に出金する必要はありません。

XMなら1人8口座まで持てるので、資金をプールしておく用の口座を作っておき、EA運用口座で利益が貯まったら、その利益をプール用の口座へ移動すれば手間も少なくて便利です。

また、XMは取引量に応じてロイヤリティポイントが加算されます。

ロイヤリティポイントはFX取引に使えるので、定期的に確認して有効活用してください。

有事の際は停止する

「有事の金」と呼ばれるように、世界情勢が悪化するとゴールドは一方的な上昇を見せたり、乱高下が激しくなったりします。

たとえば、ロシアのウクライナ侵攻や、イスラエルとハマスの衝突などは大きなニュースにもなりましたが、その際、ゴールドも暴騰しています。

こういった突発的なニュースは予測できませんが、仕方ありません。受け入れるしかありません。

逆に、こういったリスクがあることを理解しておけば、資金管理が大事だと腑に落ちます。

もし有事のニュースがあった場合は、しばらくEAは停止して1~2ヶ月ほど様子を見て、落ち着いてきてから再稼働すると良いでしょう。